



2019年12月期 第1四半期 決算説明会資料

荏原 (6361)

2019年5月14日

Looking ahead,
going beyond expectations

Ahead > *Beyond*

株式会社 荏原製作所

1. 決算サマリ				
① 全社	P3			
② セグメント別	P4			
2. セグメント別業績説明				
① 風水力	P5			
② 環境プラント	P6			
③ 精密・電子	P7			
3. 業績見通し	P8			
		4. 補足資料		
		セグメント別数値サマリ		
		① 受注高	P9	
		② 売上高	P10	
		③ 営業利益	P11	
		④ 受注残高	P12	
		⑤ 売上先所在地別売上高	P13	
		5. 今後の経営方針について	P14	

- ✓ 本資料で<参考値>として示す数値は、2018年12月期の業績を前年度同一期間と比較するために、2017年12月期（変則9か月決算）の実績を2017年1月から12月に組み替えた数値（非監査）です。
- ✓ 略語の説明
 - FY：会計年度（例 「FY19」は19年12月期会計年度）
 - 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している

1. 決算サマリ 全社



FY19 1Q業績

(単位：億円)	FY18 1Q	FY19 1Q	増減
受注高	1,588	1,170	- 417
売上高	1,302	1,301	- 0
営業利益	79	91	+ 11
売上高営業利益率	6.1%	7.0%	+ 0.9pts
経常利益	80	103	+ 22
親会社株主に帰属する 四半期純利益	61	67	+ 5

平均為替レート

USD1=JPY108.7 USD1=JPY110.8

決算のポイント

<市場環境>

- ✓ 石油・ガス市場における設備投資は回復傾向
- ✓ 半導体市場はメモリメーカーの投資減速により低調

<業績>

- ✓ 風水力事業を中心に増益
- ✓ 環境プラント事業の受注は、例年並みの水準（前期は大型案件を複数受注し、高水準）
- ✓ 精密・電子事業で大幅な受注減少

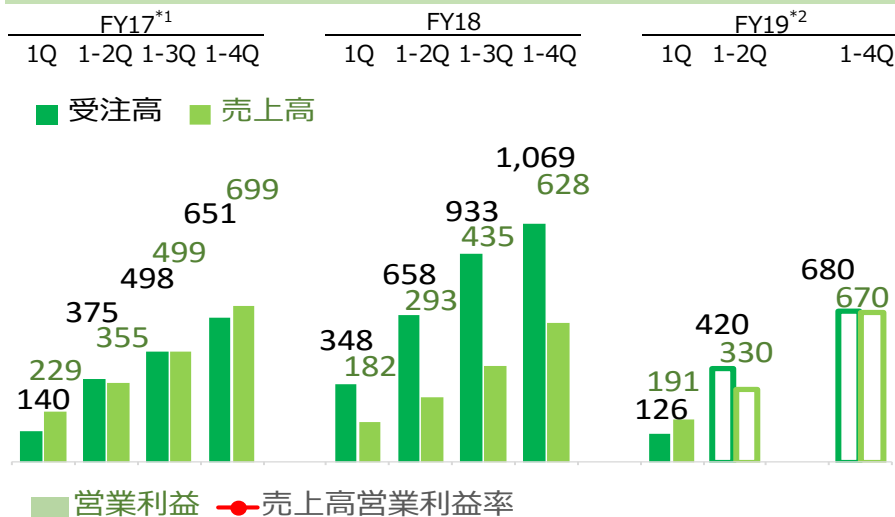
1. 決算サマリ セグメント別

(単位：億円)	FY18 1Q	FY19 1Q	増減
全社			
受注高	1,588	1,170	- 417
売上高	1,302	1,301	- 0
営業利益	79	91	+ 11
売上高営業利益率	6.1%	7.0%	+ 0.9pts
風水力			
受注高	829	801	- 27
売上高	807	815	+ 8
営業利益	24	37	+ 13
売上高営業利益率	3.0%	4.6%	+ 1.6pts
環境プラント			
受注高	348	126	- 222
売上高	182	191	+ 9
営業利益	18	22	+ 4
売上高営業利益率	10.0%	11.8%	+ 1.8pts
精密・電子			
受注高	406	239	- 167
売上高	308	290	- 17
営業利益	36	30	- 5
売上高営業利益率	11.7%	10.6%	- 1.1pts
その他、調整			
受注高	4	4	- 0
売上高	4	4	- 0
営業利益	0	0	- 0
売上高営業利益率	15.8%	6.3%	- 9.5pts

2.セグメント別業績説明 環境プラント



業績推移 (単位：億円)



*1.<参考値>、*2.「1-2Q」以降は計画値

FY19 1Q 主要受注案件

FY18 1Q	FY19 1Q
<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス発電施設EPC*3：1件 ・ごみ焼却施設DBO*4：1件 ・長期包括運転・管理契約：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設EPC：1件 ・バイオマス発電施設EPC：1件

*3.プラントの設計・調達・建設、*4.EPC及びプラントの運転・管理

ポイント

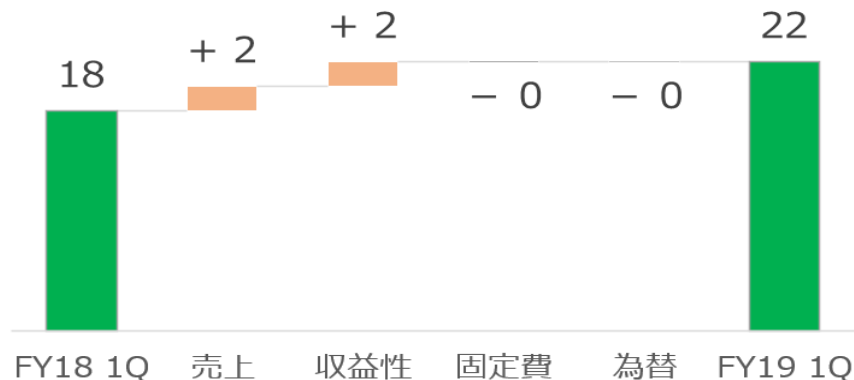
【受注高】

- ✓ ターゲット案件を順調に受注し、例年並みの水準で着地（前期は大型案件を複数受注し高水準）

【売上高・営業利益】

- ✓ オペレーション&メンテナンス案件の売上増加により増益（+）

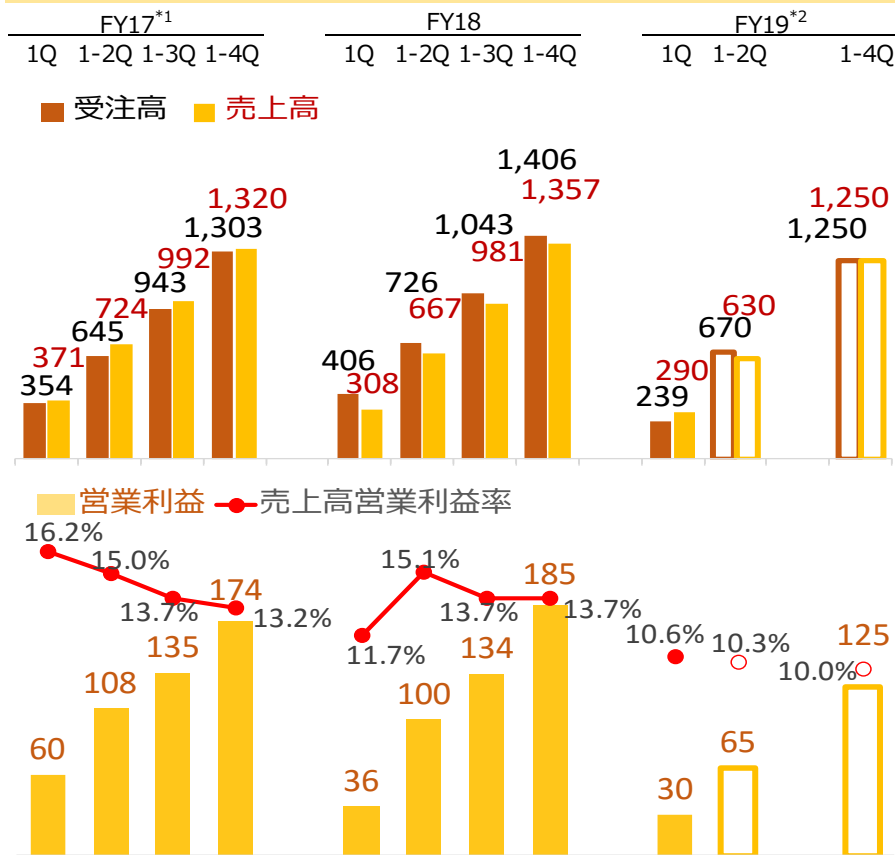
営業利益増減要因分析 (単位：億円)



2.セグメント別業績説明 精密・電子



業績推移 (単位：億円)



*1.<参考値>、*2.「1-2Q」以降は計画値

FY19 1Q 売上先所在地別売上高と前年同期比較

(単位：億円)	日本	アジア (日本以外)	北米	欧州	中東	その他	合計
売上高	56	152	57	18	4	0	290
増減*3 (対FY18 1Q)	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↘

*3. ↗は+5%以上、↘は-5%以上の変化を表す。

ポイント

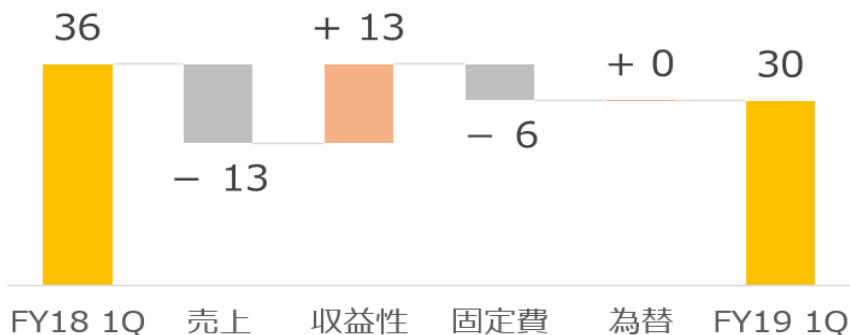
【受注高・売上高】

- ✓ 半導体市場の設備投資はメモリ向けを中心に低水準
- ✓ CMP事業・コンポーネント事業共に減少

【営業利益】

- ✓ 高採算性案件により収益性が改善 (+)
- ✓ 減収の影響 (-)
- ✓ 人件費や研究開発費が増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位：億円)



3. 業績見通し

(単位：億円)	1-2Q					1-4Q		
	FY18 実績	FY19 計画		増減		FY18 実績	FY19 計画	増減
	a	b	c	c-b	c-a	d	e	e-d
発表日(年/月/日)		19/02/13	19/05/14				19/02/13	
受注高	3,008	2,800	2,800	-	- 208	5,755	5,250	- 505
売上高	2,512	2,580	2,530	- 50	+ 17	5,091	5,250	+ 158
営業利益	147	135	135	-	- 12	324	340	+ 15
売上高営業利益率	5.9%	5.2%	5.3%	+ 0.1pts	- 0.5pts	6.4%	6.5%	+ 0.1pts
経常利益	141	130	130	-	- 11	312	330	+ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	74	80	80	-	+ 5	182	200	+ 17
ROIC	-	-	-	-	-	4.9%	5.6%	+ 0.7pts
ROE	-	-	-	-	-	6.6%	7.2%	+ 0.6pts
DEレシオ (倍)	-	-	-	-	-	0.28	0.28	-

- ✓ 上期売上高計画を50億円下方修正
- ✓ 通期計画は変更無し

4. 補足資料：セグメント別 数値サマリ

受注高

(単位：億円)	1Q			1-2Q					1-4Q		
	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY18 実績	FY19 計画		増減		FY18 実績	FY19 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	e	e-d	e-c	f	g	g-f
発表日(年/月/日)					19/02/13	19/05/14				19/02/13	
全社	1,588	1,170	- 417	3,008	2,800	2,800	-	- 208	5,755	5,250	- 505
風水力	829	801	- 27	1,615	1,770	1,700	- 70	+ 84	3,262	3,300	+ 37
ポンプ	441	439	- 2	849	850	850	-	+ 0	1,710	1,750	+ 39
CT	267	239	- 27	507	700	630	- 70	+ 122	1,027	1,100	+ 72
冷熱	85	89	+ 3	194	160	160	-	- 34	375	330	- 45
その他	34	33	- 1	62	60	60	-	- 2	149	120	- 29
環境プラント	348	126	- 222	658	350	420	+ 70	- 238	1,069	680	- 389
精密・電子	406	239	- 167	726	670	670	-	- 56	1,406	1,250	- 156
コンポーネント	171	127	- 43	307	290	290	-	- 17	628	570	- 58
CMP	221	97	- 123	387	350	350	-	- 37	720	620	- 100
その他	14	13	- 0	31	30	30	-	- 1	57	60	+ 2
その他、調整	4	4	- 0	8	10	10	-	+ 1	16	20	+ 3

- ✓ コンプレッサ・タービン事業（CT）の上期計画を70億円下方修正
- ✓ 環境プラント事業の上期計画を70億円上方修正

4. 補足資料：セグメント別 数値サマリ

売上高

(単位：億円)	1Q			1-2Q					1-4Q		
	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY18 実績	FY19 計画		増減		FY18 実績	FY19 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	e	e-d	e-c	f	g	g-f
発表日(年/月/日)					19/02/13	19/05/14				19/02/13	
全社	1,302	1,301	- 0	2,512	2,580	2,530	- 50	+ 17	5,091	5,250	+ 158
風水力	807	815	+ 8	1,543	1,560	1,560	-	+ 16	3,089	3,310	+ 220
ポンプ	509	510	+ 0	905	900	900	-	- 5	1,720	1,760	+ 39
CT	185	172	- 12	406	450	450	-	+ 43	876	1,100	+ 223
冷熱	75	88	+ 13	167	150	150	-	- 17	358	330	- 28
その他	37	44	+ 6	63	60	60	-	- 3	134	120	- 14
環境プラント	182	191	+ 9	293	330	330	-	+ 36	628	670	+ 41
精密・電子	308	290	- 17	667	680	630	- 50	- 37	1,357	1,250	- 107
コンポーネント	149	146	- 2	306	300	300	-	- 6	593	570	- 23
CMP	146	130	- 16	321	350	300	- 50	- 21	698	620	- 78
その他	11	13	+ 1	38	30	30	-	- 8	65	60	- 5
その他、調整	4	4	- 0	8	10	10	-	+ 1	16	20	+ 3

✓ CMP事業の上期計画を50億円下方修正

4. 補足資料：セグメント別 数値サマリ



営業利益

(単位：億円)	1Q			1-2Q			1-4Q		
	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY18 実績	FY19 計画	増減	FY18 実績	FY19 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	f	f-e
発表日(年/月/日)					19/02/13			19/02/13	
全社	79	91	+ 11	147	135	- 12	324	340	+ 15
風水力	24	37	+ 13	22	50	+ 27	87	160	+ 72
ポンプ	43	51	+ 7	52	45	- 7	59	100	+ 40
CT	-28	-12	+ 15	-41	0	+ 41	19	35	+ 15
冷熱	-2	2	+ 4	1	5	+ 3	4	20	+ 15
その他	11	-2	- 14	10	0	- 10	4	5	+ 0
環境プラント	18	22	+ 4	22	20	- 2	49	55	+ 5
精密・電子	36	30	- 5	100	65	- 35	185	125	- 60
その他、調整	0	0	- 0	1	0	- 1	2	0	- 2

✓ 今回変更無し

4. 補足資料：セグメント別 数値サマリ

受注残高

(単位：億円)	1Q			2Q					4Q		
	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY18 実績	FY19 計画		増減		FY18 実績	FY19 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	e	e-d	e-c	f	g	g-f
発表日(年/月/日)					19/02/13	19/05/14				19/02/13	
全社	4,202	4,470	+ 267	4,427	4,810	4,860	+ 50	+ 433	4,590	4,590	-
風水力	1,935	2,090	+ 154	1,997	2,303	2,233	- 70	+ 236	2,093	2,083	- 10
ポンプ	951	904	- 47	960	951	951	-	- 8	1,001	991	- 10
CT	756	941	+ 184	791	1,093	1,023	- 70	+ 231	843	843	-
冷熱	164	171	+ 6	179	177	177	-	- 2	167	167	-
その他	63	73	+ 10	65	81	81	-	+ 16	81	81	-
環境プラント	1,869	2,078	+ 209	2,067	2,163	2,233	+ 70	+ 166	2,143	2,153	+ 10
精密・電子	397	301	- 95	362	343	393	+ 50	+ 30	353	353	-
その他、調整	0	0	+ 0	0	0	0	-	- 0	0	0	-

- ✓ コンプレッサ・タービン事業（CT）の上期末計画を70億円下方修正
- ✓ 環境プラント事業の上期末計画を70億円上方修正
- ✓ 精密・電子事業の上期末計画を50億円上方修正

4. 補足資料：セグメント別 数値サマリ

売上先所在地別売上高

(単位：億円)	FY19 1Q				
	風水力	環境プラント	精密・電子	その他、調整	合計
合計	815	191	290	4	1,301
日本	436	186	56	1	681
アジア（日本以外）	195	5	152	1	355
北米	62	-	57	0	120
欧州	46	-	18	0	65
中東	45	-	4	0	50
その他	28	-	0	0	28

荏原のミッション

技術で、**熱く**、世界を支える

技術で、熱く、世界を支える

E-Vision2030の策定

10年後、更にその先を見据えた
経営方針・事業戦略を策定

風水力事業の改革

収益性を改善し、5大陸で
「社会・産業・暮らし」を支える
インフラプロバイダへ

（継続）ESG経営の進化

- E : 地球環境と調和する事業活動
- S : 「競争し、挑戦する企業風土」への変革を促進
- G : より透明性・公正性の高い監督機能を発揮

技術で、熱く、世界を支える

E-Vision2030の策定

技術革新やビジネスモデルなど、事業を取り巻く環境はドラスティックに変化してきており、10年先、更にはその先の市場環境や社会課題を見据えた長期の経営ビジョンが不可欠

⇒来期からの3年間の新中期経営計画(E-Plan2022)策定に合わせ、2030年のありたい姿を「E-Vision2030」として策定する

- ★ 100余年の歴史の中で築き上げてきた高い技術力を更に磨き上げ、知能化をキーワードに、外部環境・顧客の動向を先取りするソリューションを生み出せる組織・人材を育てていく

技術で、熱く、世界を支える

風水力事業の改革



収益性改善

カスタムポンプ事業、コンプレッサ・タービン事業の収益性改善が喫緊の課題
⇒迅速且つ粘り強く、改善策を実行



デジタル化

デジタル化を推進し、事業効率を向上
⇒自動化工場を軸に開発からS & Sまで、A I ・ I Tを活用



グローバル化

グローバルトップメーカーをめざし、世界中で事業展開を加速
⇒ポンプ事業の海外拠点の更なる増強 等

世界中で、5大陸で、荏原の製品をより多く使用してもらい、
「社会・産業・暮らし」を支えるインフラプロバイダへ

(継続) ESG経営の進化

E

環境経営の推進

- ごみ焼却発電の効率化や省エネ製品の開発など、地球にやさしい社会インフラの提供
- 自動化などによる低環境負荷生産体制の構築

地球環境と調和する
事業活動

S

企業風土の変革

- 全ての社員の働きがい、働きやすさを向上
⇒実力主義の人事制度、ダイバーシティ・働き方改革の推進
- ERP等のデジタル化による業務プロセス改革

「挑戦し、競争する
企業風土」への
変革を推進

G

ガバナンス強化

- 業務執行を兼務する取締役を3名から1名に
⇒独立社外取締役が11名中7名を占める
- 独立社外取締役が取締役会議長を務める

取締役会が
より透明性・公正性の
高い監督機能を発揮

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。